

令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 劇団 芸優座
公演団体名	株式会社 劇団 芸優座

内容
<p>① 第一部(全校生徒の皆さんを対象に・・・ 30～45分)</p> <p>☆事前の鑑賞指導 通常通り、公演本番を心待ちにして頂ける様、作品の粗筋やテーマ・見所、舞台となる京都の風景や時代背景、一休禅師の生涯についてなど、プロジェクターで美しい映像を見ながら簡潔に説明します。</p> <p>☆「お芝居の稽古」体験 俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動、「リラックスと集中」など、日常生活にも役に立つ演劇訓練も紹介、体験して頂きますが、状況に応じて、実際には動き回らず、声を出さない方法に変更したり、劇団員によるデモストレーションのみ実施することも可能です。最後に、全員参加シーンのお稽古ですが、通常通りでの実施が難しい場合は、アクションと手拍子に変更します。</p> <p>※ 複数回の実施、校内放送やリモートに替え、各教室での実施も可能です。また、後半の大部分を割愛し、30分程度のショートバージョンもご提案できます。</p> <p>② 第二部(共演する生徒さんを対象に・・・ 50～90分)</p> <p>★まずは、ウォーミングアップ 通常実施しているインプロゲームの中でも、声を出さず、距離も十分とれるプログラムを選び、コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現する事の面白さ等を経験して頂きます。続いて、その場で一人でできる簡単なエチュード等、演技するための具体的な訓練も体験します。ただし、この前半部分は時間等、実施が厳しい場合は割愛可能です。</p> <p>★舞台に立つための稽古 劇団員とは距離をとり、人数によっては複数回に分けても、通常通り、共演シーンの稽古をさせて頂くことが理想です。ただし、先生にはご負担をお掛けしますが、事前に出演台本をお送りし、本公演のDVDをお貸しした上で、予習をして頂くことで時間の短縮も可能です。 また、スタッフとしてのご参加を希望なさる方についても、基本的には第二部全て一緒にご参加頂きたいのですが、場合によっては、当日のリハーサルのみ参加でも可能です。</p> <p>※ 残念ながら共演を断念なさって、作品の鑑賞のみも可能です。</p>

タイムスケジュール（標準）

担当者到着・・・開始時間のおよそ一時間前（準備・会場の下見）

第一部（全体向け）・・・30～50分（終了後、休憩10分）

第二部（共演者のみ）・・・前半30分・後半30～60分

※ワークショップ終了後、担当先生と公演当日の打ち合わせを予定しています。

※第一部が放送・リモートになる場合も到着時間は変わりません。

派遣者数 **※派遣者数の内訳を御入力ください**

講師1名 補助1～3名（共演がない場合、変更があります）

学校における事前指導

共演シーンの予習がない場合、資料をお配り頂く事以外は特にありません。

令和4年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 劇団 芸優座
公演団体名	株式会社 劇団 芸優座

演目
<p style="text-align: center;">いっ きゅう 『 一 休 さん 』 二幕四場</p> <p style="text-align: center;">公演時間 80分 (途中休憩 10分)</p> <p style="text-align: center;">脚本：平塚 仁郎 演出：村田 里絵</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者12名 スタッフ 3名

タイムスケジュール (標準)
<p>※共演ありの場合……</p> <p>開演時間 13時30分として ……</p> <p>7時頃到着～ ただちに舞台・楽屋共、搬入・仕込み (所要時間3時間半) (この間に、先生と開演の最終打ち合わせをします)</p> <p>10時30分頃～ 共演生徒さん方のリハーサル (所要時間 1時間) (共演生徒さんの衣装合わせ・座席の確認もします)</p> <p>12時30分頃～ 昼食後、共演生徒さん再集合 (メイク・衣裳着替え・準備運動等)</p> <p>終演14時50分 (途中休憩10分)</p> <ul style="list-style-type: none">●終演後、ご希望によってバックステージツアー、交流会などの開催が可能です。●ばらし作業には1時間半から2時間かかります (希望があればお手伝いも可能)。 <p>※共演なしの場合……</p> <p>13時30分開演の場合 ……</p> <p>9時頃到着～仕込み(所要時間3時間半) (共演生徒さんのリハーサル・準備以外は通常通り)</p> <p>二回公演の場合(一回目10時50分・二回目13時30分開演として) ……</p> <p>6時半頃到着～仕込み</p> <p>12時30分、一回目終演後、ただちに舞台の転換・俳優の準備(メイク・衣装など)</p> <ul style="list-style-type: none">●オムニバス構成のため、低学年対象に短縮版のご提案も可能です。●午前中に二回公演はできませんが、短縮版であれば可能なこともあります。●共演シーンは午後公演を入れることは可能ですが、到着時間が早まります。

実施校への協力依頼人員
特にお願いする事はありません。

演目解説

★あらすじ ご存知！一休さんの笑いと感動の舞台劇！

第一幕 この橋わたるべからず（お寺の大広間）

一休という名の少年が、安国寺で修行に励んでいました。明るく悪戯好きの一休さん、頓智にかけては將軍様の耳に届く程評判で、ある時、お城へ呼ばれて將軍様の目の前で… みんなも知っている一休さんの頓智話！

第二幕 「言わずに書いた！」とはなんのこと？（お寺の門前）

賢い一休さんのもとには、困った事があると村の人たちが相談にやってきます。薬屋さんにお百姓の儀助どん、お役所の陣内さんまで、今日も次々と難題が持ち込まれますが… 一休さんは難問をどのように解決するでしょう。

第三幕 里山の夕景

お寺の小坊主たちと村の子供たちが、美しい里山で歌ったり、踊ったり、一緒に遊んだり… 母と子の感動シーンへのプロローグ！

第四幕 「母上に会いたい・・・」（お寺の大広間）

母上とは何年も離れて暮らす一休さん。その母上が突然、お寺へ訪ねて来た！でも、二人には会ってはならない理由があったのです。そこへ、お取り調べのお代官たちがやって来て…

はらはらドキドキ、そして、感動の母と子、再会と別れの物語！

★テーマ それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！

☆目標をみつけよう！

親と離れ、お寺という特殊な環境で厳しい修行に励んだ一休さん。どんなに辛く寂しくとも、常に前向きであろうとし、遂には、偉い人より尽くす人を目指すようになります。そして、大事なものは、目標を持つことそのものだと知ります。

☆「とんち」は争いを避けるための手段としてのユーモア

一休さんは得意なとんちで、頭の固い大人をやっつけていたように見えますが、それは無駄に争うことを避けるための手段でもあると気づきます。そんなユーモアに、今だからこそもう一度注目したいと思います。

☆人はみな平等

その子をそのまま受け入れ、厳しく優しく見守る和尚様が、事あるごとに教えているのは、「人はみな平等」ということ… それを、一休さんたちと共に心に刻みたいと思います。

☆親の愛は無償の愛…

共に過ごす時間が少なくとも、親の愛も子の愛も、しっかり繋がることのできる… そんなことを再確認しつつ、離れて暮らさなくてはならなかった一休親子の、生涯で一度だけの再会となってしまったその場に立ち合ってください。

◎オムニバス形式の為、お時間や鑑賞学年等により、以下のような変更が可能です

A. 「共演なし」バージョン(上演時間は変わりません)

第一幕 この橋わたるべからず（お寺の大広間）

第二幕 「言わずに書いた！」とはなんのこと？（お寺の門前）

第三幕(内容変更) 修行の合間（里山の夕景）

一休たち小坊主3人が、遊んだり歌ったり…

第四幕 「母上に会いたい・・・」（お寺の大広間）

B. 60分バージョン(休憩なし)

第一幕 この橋わたるべからず（お寺の大広間）

第三幕 修行の合間（里山の夕景）

第四幕 「母上に会いたい・・・」（お寺の大広間）

C. 「1コマ」バージョン(上演時間40分・休憩なし)

第一幕 この橋わたるべからず（お寺の大広間）

第二幕 「いわずに書いた！」とは何のこと？（お寺の門前）

●「共演あり」の場合も、第二幕、第三幕いずれか一方でも公演可能です。また、60分バージョンの第三幕、1コマバージョンの第二幕での共演も可能です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

◎事前の鑑賞指導について

わずかでも作品の背景を知ること、当日、積極的に深い鑑賞が可能となり、より楽しめる事は確実です。そこで、この時間に関しては、放送やリモートに変更しても、ぜひ実施をお願いしたいと思います。コロナ禍にあっても、舞台芸術が映像とは違う、「**観客**」と共に創造していくものであるという事を、なんとか「体験」して頂きたいと願い、豊かな時間となるよう工夫します。

◎共演について

安心安全を第一に考え、ワークショップから本番まで、共演生徒さんには常にマスクの着用をお願いし、俳優も共演シーンのみは本番も舞台上マスクを着用しています(舞台袖では常に全員マスクを着用)。また、生徒さんの衣装替えはご自身で出来るよう予め準備を整え、鬘は使用せず、メイクも可能な限り(ポイントメイクなど)とさせて頂いています。

また、共演までの「控え」や鑑賞も舞台袖ではなく、**特設座席**をフロアーに設け、常に俳優・スタッフとは距離をとります。

児童生徒とのふれあい

通常は、お別れのその時まで、ふれあいを大切にしていますが、コロナ禍にあっては対面では難しい為、これまで以上に、**感想文やお手紙でのやりとりを増やしたり、リモートでの交流**などをご提案しています。